

# まちの美化と防犯運動

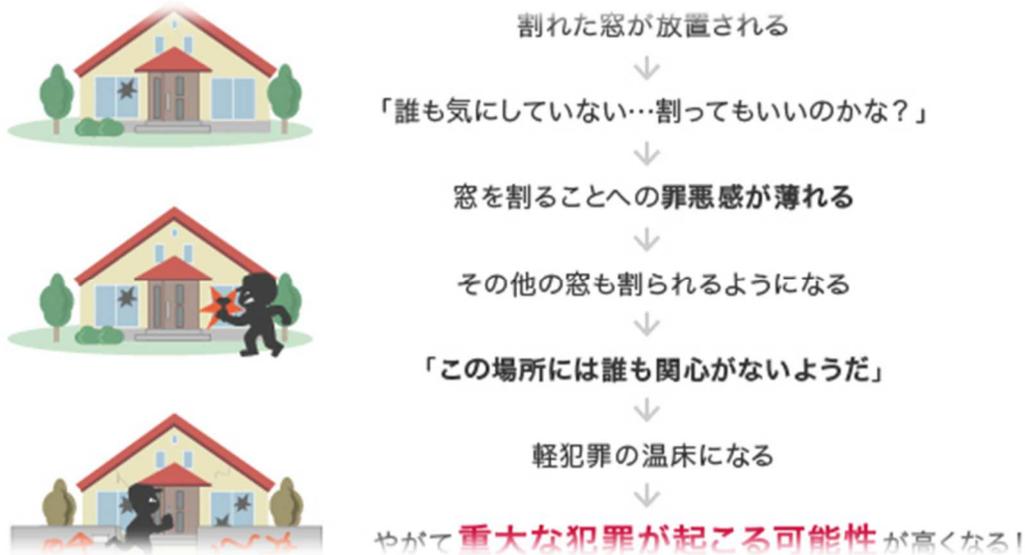
- 町の清掃 治安 防犯対策



## 割れ窓理論とは？

人はきれいなまちをみると、何となく生活しやすいイメージを抱くものです。その一方で、人の気配を感じないまちや、ゴミが空き地や路肩などに散らかっているまちには、いい知れない不安な気持ちを抱いてしまうこともあるでしょう。実はこうした人間の心理が地域の防犯にも大きな影響を与えています。

## 「割れ窓理論」と「まちの清掃と防犯」の関係



たとえばゴミについても同じことをいえます。

まちには至る所にポイ捨てされたゴミが落ちていることがあります。ルールやマナーを守らない人がいると、他の人も軽い気持ちで同じことをする傾向があるため、まちがどんどん汚れていってしまいます。

## まちのゴミ拾い、見回りなどのボランティア

ゴミ拾いをして常にきれいなまちの状態を保つことで、一人ひとりにまちを汚さないようにするという責任感が生まれ、ルール・マナー向上に繋がります。

地域によっては自主的にゴミ拾いやパトロールなどのボランティア活動が行われています。犯罪者にとって犯罪を起こしにくい環境をつくることで、自分たちのまちを守ることに繋がるのです。



## 自宅の外観の整備



ご家庭の庭や家のまわりを日頃からきれいな状態にしておくことも大切です。空き巣は「家」単位だけでなく「周辺環境」も含めてまち侵入しやすいかどうかを判断します。つまり、家の防犯強化はまち全体の防犯強化に影響するということです。

対策としては、庭のお手入れや修繕、そして一番見落としがちな郵便受け。郵便物やチラシが郵便受けからあふれていると、個人情報記載された封筒を盗まれたり、留守が続いていると判断した空き巣に狙われやすくなったりします。日頃から庭の

掃除や郵便受けのチェックをしておきましょう。